

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	のぞみ学園かめあり（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年10月1日		～ 2025年11月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	67名	(回答者数) 38名
○従業者評価実施期間	2025年10月1日		～ 2025年11月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 16名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもにとって分かりやすく過ごしやすい環境であり、バリアフリーなども考慮されている	メインの教室だけではなく、活動内容、指導内容に合わせて相談室やプレールーム、屋上なども利用している	引き続き、プログラム内容が広がるよう館内の教室やスペースを活用する
2	子どもの状態や保護者のニーズを踏まえた上で個別支援計画を作成している	・アセスメントを基に個別支援計画を作成し、クラス担当、管理職で内容の確認を行っている ・個別指導や家庭支援相談を活用し、保護者の相談を受けている	・引き続き、共通のアセスメントツールを用いて子どもの発達状況を把握する ・アセスメントや支援技術に関する研修を定期的に行い、職員の支援力の向上を目指す
3	子どもに関する情報、プログラムなどの計画を職員間で共有できている	・週に1回、各クラスのクラス会議を設けて情報共有を行っている ・非常勤職員には会議録、週案などを用いて情報共有を行っている	引き続き、クラス会議や終礼の時間にて情報共有を行う

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	兄弟支援、保護者支援の機会がない	・兄弟支援や兄弟校流の機会を設けていない ・保護者勉強会は毎年冬に開催している為、自己評価の時点では新規利用者の方が参加できていない。	・兄弟も一緒に遊べる場として教室開放などの機会を設ける。 ・保護者勉強会や保護者会の情報を入園児にお知らせする。
2	保育園や幼稚園等との交流の機会がない	・地域のイベントなどの情報は発信しているが、施設として利用児以外のお子さんとの交流の機会を設けていない	・園庭開放の情報を地域に広く発信し、交流の場として活用する
3	子どもへの直接支援以外の児童発達支援センターとしての取り組み（地域の会議への参加や区主催の他事業所との交流会への参画等）について、非常勤職員を含め職員間の情報共有が不十分である	・管理者や各担当者が外部で行っている活動に関する報告の機会がない	・終礼などで報告の機会を設ける